

## 平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅡB(SeminarⅡB)		授業コード	E002504
担当教員名	古川 順一		科目ナンバリングコード	
配当学年	2	開講期	後期	
必修・選択区分	必修	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	人間として一番大切なことについて勉強したい人なら、だれでも歓迎です。			
受講心得	出席して、話をよく聴いて下さい。			
教科書	ゼミでその都度指示する			
参考文献及び指定図書	村松他『はじめて学ぶ西洋思想』(ミネルヴァ書房) 日本イギリス哲学会編『イギリス哲学・思想史事典』(研究社)(電子版あり)			
関連科目	西洋経済史、経済学史			

授業の目的	人間として一番大切なことを、思想の歴史を通して学ぶ。 西洋の歴史から、人間として一番大切なことは何かを知り、身に着けられるようにする。 どの地域でどのような仕事をする際にも必要な、普遍的視点を身に付けてもらうことを目標としています。
授業の概要	ルターやカルヴァン、イギリスの宗教改革者たちの思想を取り上げます。 世界史上一番大切な出来事から、人間として一番大切なことは何かを考えます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週： 近代の基盤となった、16、17世紀の思想を中心に取り上げます。 宗教改革を中心に学びます。特にドイツ、スイス、イギリスの宗教改革を考えます。	
第2週： 近代の基盤となった、16、17世紀の思想を中心に取り上げます。 宗教改革を中心に学びます。特にドイツ、スイス、イギリスの宗教改革を考えます。	レポート提出
第3週： 近代の基盤となった、16、17世紀の思想を中心に取り上げます。 宗教改革を中心に学びます。特にドイツ、スイス、イギリスの宗教改革を考えます。	レポート提出
第4週： 近代の基盤となった、16、17世紀の思想を中心に取り上げます。 宗教改革を中心に学びます。特にドイツ、スイス、イギリスの宗教改革を考えます。	レポート提出
第5週： 近代の基盤となった、16、17世紀の思想を中心に取り上げます。 宗教改革を中心に学びます。特にドイツ、スイス、イギリスの宗教改革を考えます。	レポート提出
第6週： 近代の基盤となった、16、17世紀の思想を中心に取り上げます。 宗教改革を中心に学びます。特にドイツ、スイス、イギリスの宗教改革を考えます。	レポート提出
第7週： 近代の基盤となった、16、17世紀の思想を中心に取り上げます。 宗教改革を中心に学びます。特にドイツ、スイス、イギリスの宗教改革を考えます。	レポート提出

第8週： 近代の基盤となった、16、17世紀の思想を中心に上げます。 宗教改革を中心に学びます。特にドイツ、スイス、イギリスの宗教改革を考えます。	レポート提出	
第9週： 近代の基盤となった、16、17世紀の思想を中心に上げます。 宗教改革を中心に学びます。特にドイツ、スイス、イギリスの宗教改革を考えます。	レポート提出	
第10週： 近代の基盤となった、16、17世紀の思想を中心に上げます。 宗教改革を中心に学びます。特にドイツ、スイス、イギリスの宗教改革を考えます。	レポート提出	
第11週： 近代の基盤となった、16、17世紀の思想を中心に上げます。 宗教改革を中心に学びます。特にドイツ、スイス、イギリスの宗教改革を考えます。	レポート提出	
第12週： 近代の基盤となった、16、17世紀の思想を中心に上げます。 宗教改革を中心に学びます。特にドイツ、スイス、イギリスの宗教改革を考えます。	レポート提出	
第13週： 近代の基盤となった、16、17世紀の思想を中心に上げます。 宗教改革を中心に学びます。特にドイツ、スイス、イギリスの宗教改革を考えます。	レポート提出	
第14週： 近代の基盤となった、16、17世紀の思想を中心に上げます。 宗教改革を中心に学びます。特にドイツ、スイス、イギリスの宗教改革を考えます。	レポート提出	
第15週： 近代の基盤となった、16、17世紀の思想を中心に上げます。 宗教改革を中心に学びます。特にドイツ、スイス、イギリスの宗教改革を考えます。	レポート提出	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
地域志向科目	該当しない	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	人間として一番大切なものに向き合うことができる。
【知識・理解】	人間として一番大切なものを大切に社会、思想、文化について理解する。
【技能・表現・コミュニケーション】	人間として一番大切なもののために生きることができる。
【思考・判断・創造】	人間として一番大切な者について深く考えることができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		50点	15点	
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		10点		
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		5点		
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。		20点		
<b>(「人間力」について)</b>				
※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を楽しむ、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	基本的に毎回レポートを提出してもらいます。 [Sレベル] 単位を修得するために到達すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために到達すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために到達すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために到達すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他 (無形成果)	